

1 ねらいについて

第12期全国統一研究主題「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」

キーワード〈自立・協働・創造〉(第1年次)のもと、本県の研究主題『児童生徒一人一人が輝き 未来にはばたく力を育む 魅力ある学校づくり』に取り組み、研究の三つの柱である継続性・協働性・関与生を念頭に置き、自ら研究主体としての力量を高め、学校現場に役立つ実践的な研究を推進する。

また令和元年度の県つくば大会・関ブロ新潟大会の研究成果を受け継ぎ発展させ、日立大会の成功を期する。

2 組織について

○ 部長(日立大会実行委員長を兼ねる。) 日立市立櫛形小学校 國井 篤

○ 副部長

(開催地研究部より) 日立市立河原子中学校 三代 博紀

(水戸市より) 水戸市立石川中学校 高星 茂紀

(来年度開催地より) 土浦市立都和小学校 佐藤 裕美

(集録担当地より) 鹿嶋市立大同東小学校 日向寺 満男

※ 日立大会は、「紙面発表大会」として実施するので、集録を発行しない。来年度も集録は、県東ブロックが担当する。

3 活動について

○ 研究大会日立大会に向けて

① 提言者研修会→6月から

・ 新型コロナウイルス感染症防止のため書面研修として実施

※ その後も、提言者を集めての研修は実施せず、メール等でのやりとりで紀要を作成

② 日立大会実行委員会 随時開催

※ 実行委員会の中で、「日立大会は、これまでの参集型の研究大会としては行わない。」という話し合いがもたれたので、役員会に上申書を提出した。その上申書を受け、臨時の役員会で「日立大会を例年の参集型の研究大会として行わず、紙面発表大会として行う。」ことが決定された。

③ 紙面発表大会に向けて

※ 提言者の原稿を含めて「大会要項」を作成し、茨城県小中学校教頭会の全会員に配付し、研究成果の共有を図る。→令和2年12月末に納品され、令和3年1月に各郡市研究部長を通して全会員に配付。各郡市での研修等での活用をお願いする。

○ その他の活動

① 全公教「研究の手引き」の送付 5月 事務局を通して各郡市研究部長へ

② 群馬大会要項(紙面発表大会)の送付 11月 事務局を通して各郡市会長へ

③ 全公教「第1・2回全国研究部長会」 12月3日 リモートにより國井部長が参加

④ 関ブロ千葉大会第一次案内の送付 12月 事務局を通して各郡市研究部長へ

⑤ 全公教「中央研修大会」 2月5日 リモートにより國井部長が参加

⑥ 全公教「中央研修大会の映像配信型研修」についての参加依頼 1～2月